

リフレッシュ研修会（岐阜地区）

日 程：2024年11月2日(土)

場 所：講義会場・長良川球技メドウ 実技会場・長良川球技メドウ

参 加 者：14人

チューター：松永 英機 ・ 馬淵 圭太

【受講生の感想】

●ビルドアップの部分の重要性、それには技術が必要であることが分かった。パスやトラップの質、タイミングも大切である。GP とフィールドプレーヤーとの関わりを全体で共有することが大事だと分かりました。

岩野田サッカー少年団：笠井 栄樹さん

●3、4年生を教えています。GP がボールを保持した時、FP の動きが無くプレーが止まってしまいます。ギャップの作り方、特に相手を連れて動いてスペースを空ける、そこに味方の動きを見て別の子が走り込む等、トレーニングでやってみたいと思います。

FC ボルティス：古瀬 健一さん

●初めてリフレッシュ研修会に参加させて頂きましたが、チューターの指導デモを間近で見られて勉強になりました。また機会があれば参加したいと思いました。

美濃サッカースポーツ少年団：猿渡 竜司さん

【担当チューターより成果と課題】

岐阜地区を中心にリフレッシュ研修会を開催しました。講義では、「岐阜県の現状」や「G-ACTION 2030」「育成パスウェイ」などについて紹介しました。特にサッカーの指導者は常に現状分析を行うことで次への具体的なアクションへ繋げていけるものであると考えています。実技では、岐阜県の課題である「GK（GP）を含めたビルドアップ」をトピックとして指導実践しました。モダンフットボールではGK（GP）はフィールドプレーヤーと同じような役割となってきています。攻められたら大きく蹴って攻め返すのも一つの方法ですが、GK（GP）を含めてパスやドリブルを使いながらゴールを目指す手法を身に付けていきたいですね。特にジュニア年代からビルドアップができる力を育てることに目をむけそのためには個人テクニックと個人戦術を日常の中でトレーニングしていきたいですね。

最後のゲームではゴール前の攻防が多くなりましたが、ビルドアップしていく重要性について参加者のみなさんと共有できたかと思います。ボールを保持しながら前進するサッカーを向上させたいですね。

岐阜県サッカー協会技術委員会技術委員長：FA コーチ：松永 英機

【講義の様子】

